

青木徹郎（あおき・てつお） 1937年東京都生まれ。1959年学習院大学経済学部卒。同年東京放送（TBS）入社。政治部長、解説委員、報道局次長、報道局主幹、社長室理事兼メディア企画局理事、TBSメディア総合研究所主任研究員。現在、日本デジタル放送サービス(株)常勤監査役。

阿部 穆（あべ・あつし） 1935年東京都生まれ。1957年早稲田大学第一文学部卒。同年産経新聞社入社。政治部長、編集局次長、米国総局長、駐米代表、取締役・国際担当・正論調査室長。94年(株)長野放送代表取締役副社長、同社顧問。現在、産経新聞社顧問、大平正芳記念財団評議員。著書に『大平正芳回想録』（共著）など。

泉 宏（いずみ・ひろし） 1947年神奈川県生まれ。1972年早稲田大学商学部卒、同年時事通信社に入社。大平内閣発足のときに官邸クラブサブキャップ、86年自民党キャップ、90年から政治部次長兼官邸キャップ、98年から政治部長、現在に至る。著書に『21世紀の首相候補生』（共著）など。

宇治敏彦（うじ・としひこ） 1937年大阪府生まれ。早稲田大学文学部卒。東京新聞、中日新聞で政治部次長、経済部長、編集局次長を経て現在、取締役論説主幹。ほかに早大講師、国語審議会委員、日本記者クラブ企画委員など。著書に『心を伝える』『政治記者の定点観測』『鈴木政権863日』『中国問診』など。

川内一誠（かわうち・いっせい） 1932年東京都生まれ。早稲田大学文学部卒。テレビ朝日で政治記者として72年宏池会担当。報道部デスク、解説委員、「ニュースセブン」キャスターなどを務める。現在いわき明星大学非常勤講師。著書に『保守本流の系譜』（共著）『大平政権554日』など。

国正武重（くにまさ・たけしげ） 1933年愛媛県生まれ。早稲田大学法学部卒。朝日新聞政治記者・編集委員として佐藤栄作内閣をはじめ歴代政権を取材。大平内閣当時、首相官邸クラブ責任者。95年退職後、政治評論家。編著書に『革新連合政権』『自民単独支配の終焉』『湾岸戦争という転回点』など。99年度日本記者クラブ賞受賞。

清水幹夫（しみず・みきお） 1939年埼玉県生まれ。慶応義塾大学法学部卒。63年毎日新聞社入社。政治部記者として、宏池会を担当。政治部副部長、論説委員政治部長。論説副委員長、91年論説委員長、95年論説室顧問。現在、毎日新聞社アジア調査会専務理事・事務局長。著書に『自民党』『田中神話の崩壊』（共著）など。

田勢康弘（たせ・やすひろ） 1944年中国黒龍江省生まれ。早稲田大学第一政治経済学部卒。69年日本経済新聞社入社。政治部記者、ワシントン特派員、ワシントン支局長、東京本社政治部次長兼編集委員。現在、論説副主幹。著書に『豊かな国の貧しい政治』『政治ジャーナリズムの罪と罰』など。

福島正光（ふくしま・まさみつ） 1925年東京生まれ。東京外国語大学ロシア語科中退。出版社の単行本・雑誌編集者、PR会社制作部長等を経て、翻訳者・コピーライター。訳書にパーキンソン著『金は入っただけ出る』、ライシャワー著『ザ・ジャパニーズ・トゥデー』など。

山岸一平（やまぎし・いっぺい） 1937年埼玉県生まれ。60年中央大学法学部卒。同年日本経済新聞社入社。政治部長、取締役人事局長、常務大阪本社代表、専務。現在、日経メディアマーケティング代表取締役社長、日本経済新聞社客員、公安審査委員会委員。著書に『死なば死ね、殺さば殺せ』（田中正造のもう一つの斗い）など。